



「ポストコロナ社会」のまちづくりを見据えて

令和3年度



施政方針

黒土町長が3月定例議会で示した令和3年度の施政方針。行政の「高度化・効率化・スピード化」で抜本的な改革を推し進める決意と挑戦が表明されました。今回は、苦境に立つ町を切り拓く指針の中から厳選した主要施策をお知らせします。



既成概念にとらわれず
本町の未来を切り拓く

福智町では昨年、現状下の
大混乱を招いた新型コロナウイルス感
染症対策を中心に、影響を受
けた皆さまへの支援、地域経
済の活性化や教育の充実等に
取り組んできました。少しづ
つ感染症収束の希望が見え始
めた今、コロナ禍で変容した
生活様式や価値観を的確に
とらえ、ポストコロナのまち
づくりを見据えた改革を進め
ていかなければなりません。
しかしながら、合併当時
から下げ止まりの見えない人
口減少などの課題が本町に山
積しています。特に財政面で
は、合併特例措置の失効や

01 行政機構改革

保健課と福祉課にまたがる介護保険
事業を福祉課に統合
福祉課に子育て支援係、高齢者福祉
係、障がい者福祉係を新設
令和4年度までに実施される行政機
構改革の調整

02 防災

福智町地域防災計画の改訂と災害
情報伝達方法の構築による防災強化
防災施設基本構想の早期樹立
地域防災組織の設立
危険家屋の法的処置で環境改善
消防団員の処遇改善に向けた準備
老朽化した消防ポンプ自動車等の
更新および、消防格納庫の整備

03 公有財産

町公共施設等総合管理計画の見直し
行政機構改革実現のための本庁舎
改修事業

08 福祉

令和5年度中の竣工を目指す慶芥
処理施設工事の着工
社協委託の包括支援センターと連携
して高齢者の心身の健康を増進
民生委員による独居高齢者の見守り
福祉バスの効果的活用を検討
「地域生活支援拠点」の準備
災害時等に障がい児の入所施設と
連携した緊急入所への対応
手話言語条例に基づく施策の推進

09 子育て支援

公立保育園の民営化
子ども家庭総合支援拠点の設置
学童保育の充実
保育無償化導入及び第3子無償化
の継続実施

10 保健・介護予防

新型コロナウイルスの接種体制確立
および最新情報の提供

04 地域振興

遊休地売却による土地の有効活用
指名願い申請手続きのデジタル化
ニーズ・社会状況に応じた持続可能
な地域交通の確保
「福智町地域公共交通計画」を踏ま
えた実施計画の作成による新たな
公共交通ネットワークの形成
ふるさと交流館「日王の湯」の指定
管理者を選定
2億4千万分の町内経済効果を創出
する「福智プレミアム商品券」の発行
コロナ禍で落ち込んだ町内飲食需要
を回復させる「福智グルメキャンペーン
事業」の実施

05 地方創生

「上野焼振興計画」の支援による国
指定伝統的工芸品の活性化
地域ブランド化を推進するための
計画を立案
包括連携協定を結ぶ日本航空との

11 人権尊重

「福智町部落差別の解消の推進に
関する条例」に基づく取組の推進
新築住宅資金等の滞納金徴収を強化
旧大型作業所の財産処分
「福智町補助金交付規則」に基づく
各種団体助成金の適正化

12 建設事業

国や県からの交付金を有効活用し
た道路・橋梁等の点検・調査・修繕
補修等、適正な維持管理
通学路の安全確保に配慮した道路
改良事業の推進

13 町営住宅

福智町営住宅長寿命化計画に沿う
町営住宅の建て替え事業と維持補修
の推進と払下げ可能な団地の払下げ
住宅使用料滞納者への督促・催告・
明け渡し訴訟等や未収金の回収強化

06 農林業振興

高品質な作物の収穫量向上と農業
の動力省力化を目指す農地基盤整
備事業の推進
弁城地区の県営土地改良整備事業
実施に係る基礎調査
機械導入補助事業や研修費用助成
による農業の担い手の育成
農事組合法人設立の実現に向けた協議
猟友会と連携した有害鳥獣対策強化

07 国保・医療・衛生

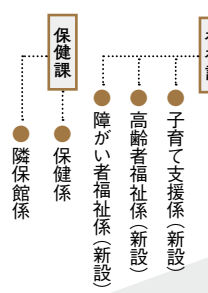
町独自負担による中学3年生まで
の医療費無料化の継続実施
国保医療費等の実情を踏まえた健
全な事業運営の実施
福岡県後期高齢者医療広域連合と
連携した安定的な制度運営の推進
合併浄化槽整備の推進

行政機構改革



山 積する行政課題
の解消に向けて
必要な体制を整えるた
め、昨年度から実施され
ている「行政機構改革」。
総務課をはじめとする
11課と赤池・方城支所
の業務を令和4年度末
を目途に整理し、新体
制を構築していきます。

今年度実施の機構改革



※令和2年度末で保健課・地域包括
支援センター係を廃止し、町社会
福祉協議会へ委託。その内、行政
が担うべき業務については、今年度
新設の福祉課高齢者福祉係が担当。

Close up

14 診療所・支所

令和4年に町立診療所を方城診療所
へ統合するための準備
今年度末で両支所を廃止する協議
行政事務の郵便局委託に向けた協議
コンビニでの収納・証明書の発行強化

15 その他

人口増加を促進する民間住宅の助成
町税の適正な課税と県と連携した
徴収の実施
マイナンバーカードの普及促進
上野地区をはじめとした未着手地
区の国土調査の推進
満70歳以上のかた対象の自動車運
転免許証の自主返納支援事業
満65歳以上のかた対象の安全運転
支援装置設置者へ半額助成（上限有）
行政の説明責任を果たし、町民の
皆さまの目線に立つ広報紙面づくり
各課と連携し、施策や災害情報を
公式のホームページやSNSで発信

令和3年度 重要施策

●新型コロナワクチン接種の早期完了



●公立保育園の民間譲渡

●金田本庁舎改築計画及び着工



●一部行政事務の民間委託へ向けた協議

●上野地区の開発

●温泉施設の民間委託



●定住人口の増加を目指す町有地分譲

●公共施設の統廃合・跡地利用計画策定



●滞納金解消に向けた取組強化

●子育てしやすい環境整備



●日本航空と連携した体験学習





令和3年度



予算

令和3年度「当初予算」の概要と新型コロナウイルスの影響を受ける財政状況をお知らせします。

ダブルパンチで厳しい財政事情

自主財源の根幹をなす「町税」は、15億円程度を見込んでいますが、新型コロナウイルスの状況次第ではさらに財政が厳しくなると思われます。歳入の3分の1を占める交付税は、前年度で「合併算定替激変緩和期間」が終了。平成25年度の53億2千万円と比べ6億6千万減の46億6千万円にコロナ禍の影響に伴う国からの地方税収の補填分である3億4千万を加えた50億円が歳入になると分析しています。また前年度、大幅に減額した「ふるさと寄附金」はコロナ禍の影響で大幅に増額となりましたが、必要経費などを除くと一般財源へ充てられる実際の金額は多くを見込めません。

統廃合・民営化で財政健全化へ

歳出面では、平成29年度から4年間で10%の削減を目標に縮減してきましたが、県内の他自治体と比較すると突出した予算規模のため、今後もより一層の縮減が必要になります。また、老朽化した施設維持費が年々増加しているため、今後も徹底した経費削減を行うと同時に、町行革推進員の「福智町行財政改革大綱答申」を基に、合併以降先延ばしにしてきた公共施設の統廃合や民営化を進めていきます。また、統廃合の財源は、期間が延長された「合併特例債」「過疎債」を想定しています。

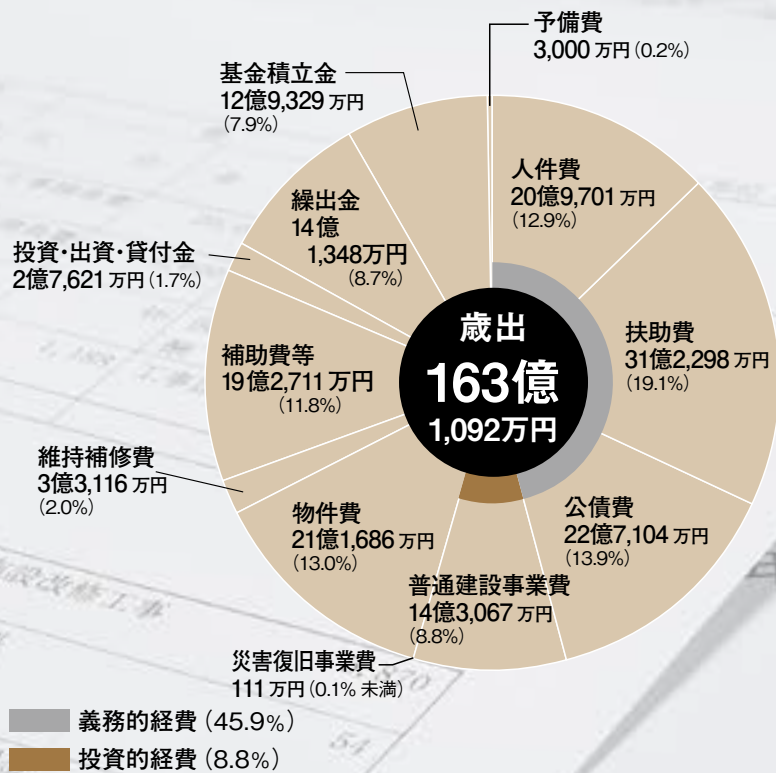
旧三町時代の教訓胸に刻んで

今までの一般会計予算は、黒字を確保していますが、その実態は合併特例債や過疎債などの発行と基金の取り崩しによるもの。家計に例えればローンを増やし、貯金を切り崩しているイメージです。この状態が続けば、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は97%超え、今後数年で基金は底をつき、高確率で「財政再生団体」に転落する恐れがあります。福智町の前身である旧赤池・金田・方城時代に経験した赤字団体へ再び転落することがないよう町財政の健全化に取り組んでいきます。

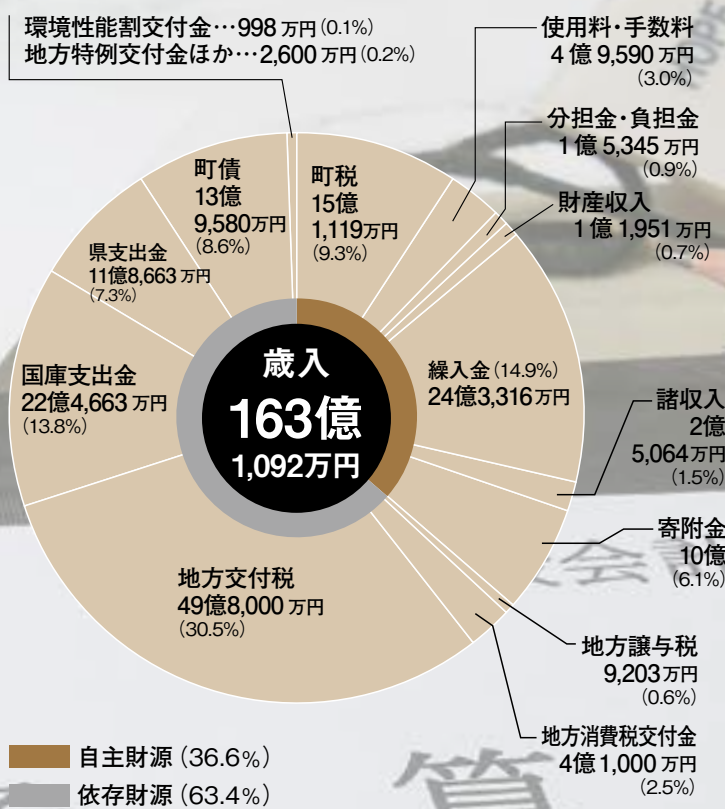
一般会計歳出【目的別グラフ】

議会費	1億2,748万円(0.8%)
総務費	21億1,171万円(12.9%)
民生費	51億3,064万円(31.5%)
衛生費	17億3,909万円(10.7%)
農林水産費	5億2,194万円(3.2%)
商工費	1億9,021万円(1.2%)
土木費	13億2,558万円(8.1%)
消防費	4億2,819万円(2.6%)
公債費	22億7,104万円(13.9%)
教育費	11億3,739万円(7.0%)
労働費・災害復旧費・諸支出金・予備費	13億2,765万円(8.1%)

一般会計歳出【性質別グラフ】



一般会計歳入



特別会計予算

特別会計	予算等金額
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,282万円
国民健康保険事業特別会計	26億3,431万円
後期高齢者医療特別会計	3億754万円
国民健康保険福智町立診療所事業特別会計	8億3,464万円
田川郡町村公平委員会特別会計	264万円

用語説明

【一般会計と特別会計】
地方公共団体の会計のうち「一般会計」は基本的・全般的な経費を経理する会計で、「特別会計」は特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して経理するための会計です。

【歳入】
町税：みなさんに納めていただく「町民税」「固定資産税」「たばこ税」「軽自動車税」などの税金です。
地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金で「普通交付税」と「特別交付税」があります。「地方交付税」は、団体間の財政力の不均衡をなくし、どの住民にも一定の行政サービスが行えるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税）として集められた財源のうち一定割合の額を、地方公共団体に再分配するものです。

町債：町の借入金（借金）で償還が2年以上にわたるものです。公共施設建設のように一時的に多額の経費を必要とし、かつ長期間にわたって利用できるものの財源にあてられます。
国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金で、国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金の3つに分類されます。
県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます。
繰入金：積立金（基金）の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

【目的別歳出】

地方公共団体が行う事業を目的別に分類するもので、行政サービスの水準や行政上の特色などを知ることができます。
議会費：議会運営のための経費です。
総務費：行政全般の事務などに関わる経費です。
民生費：障害者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費です。
衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。

農林水産費：農林業振興のための支援や生産基盤整備などの経費です。
商工費：商工業や観光の振興などに関する経費です。
土木費：道路や河川、公園、施設建設など社会資本整備のための経費です。
教育費：学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費です。
公債費：事業を行うために借りたお金（町債）の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費です。

諸支出金：他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目です。各種基金への積立金、土地取得費等があります。
予備費：予算編成の際、予期しなかった支出に対応するための科目です。

【性質別歳出】

地方公共団体の経費を性質別に分類するもので、義務的経費、投資的経費、その他の経費に区分できます。義務的経費は支出が義務づけられている経費で、投資的経費は行政水準の向上にかかるとする。人件費：議員報酬、職員給与などです。物件費：旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費です。維持補修費：道路や公共施設などを管理するために必要な経費です。扶助費：社会保障制度の一環として、高齢者、児童、心身障害者などに対して行う支援のための経費です。補助費等：町から他の団体などに対して行政上の目的から支払う経費です。報償費（講師謝金等）、役務費（保険料等）、負担金・補助金及び交付金（助成金等）などが該当します。普通建設事業費：道路や公共施設の増設に必要とされる経費です。災害復旧事業費：災害で被災した施設などを復旧するための経費です。公債費：町の借金などを償還するための経費です。積立金：財政運営を計画的にするため財源変動に備えて積立てる経費です。繰出金：一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用をするための経費です。



新たな戦力を迎え、動き始めた新体制を発表

Administrative personnel changes

令和3年度

人事異動

4月1日の「辞令交付式」で黒土町長と朝部教育長から辞令を受け、町内6校に赴任した先生たちと町役場職員の人事異動をご紹介します。



児童生徒総数：648人
学校長：柴田 徹



金田義務教育学校
藤川 和久 教頭 [池尻小] 北山 恵子 教諭 [勾金中] 栗本 朱音 教諭 [新規採用] 元田 玲 教諭 [新規採用] 片桐 紀子 教諭 [新規採用] 高橋 彩菜 教諭 [新規採用]



宮本 昇真 教諭 [新規採用]



弁城小学校
児童総数：81人
学校長：津田 明
西田 貴治 主幹教諭 [香春小] 武末 三奈 教諭 [赤小] 長尾 創太 教諭 [新規採用] 牛島 稚菜 養護教諭 [添田小] 坂東 愛美 学校事務 [香春中]



生徒総数：209人
学校長：河野 康世



方城中学校
河野 康世 校長 [筑豊教育事務所] 福田 和憲 教諭 [糸田中]



市場小学校
児童総数：354人
学校長：高上 克也
太田 優子 教頭 [上野小] 大久保 香世子 教諭 [附属小倉小] 岩本 麻美 教諭 [新規採用]



市場小学校
西村 奏音 教諭 [新規採用] 船瀬 安仁 教諭 [附属小倉小]



児童総数：62人
学校長：縄田 房枝



上野小学校
清瀬 浩一 教頭 [中津原小] 薄 由美 教諭 [川崎小] 鬼丸 麻衣 教諭 [勾金小] 上野 綾華 教諭 [新規採用]



十時 優衣 養護教諭 [新規採用]



赤池中学校
生徒総数：213人
学校長：春永 功次郎
林 利治 教頭 [添田中] 満生 剛 教諭 [糸田中] 入江 和希 教諭 [新規採用] 藤松 則弘 教諭 [香春中]



課長
会計管理者兼出納室長 守田裕二郎(田川広域水道企業団福智町水道事務所所長)
住民課長 前川司(農政課課長補佐)
福祉課長 小松卓美(赤池支所長兼方城支所長)
田川広域水道企業団福智町水道事務所所長 和田祐一(生涯学習課課長補佐)
学校教育課長 田中智和(総務課課長補佐)
生涯学習課長 澤井秀孝(田川広域水道企業団福智町水道事務所副所長兼業務係長)
赤池支所長兼方城支所長 相原明(会計管理者兼出納室長)
下田川清掃施設組合派遣 森野秋人(住民課長)

課長補佐
総務課課長補佐 仲村和宏(総務課財政係長)
福祉課課長補佐 竹宗慶(学校教育課給食センター係長)
建設課課長補佐 若林友克(建設課土木係長)
学校教育課課長補佐 山本一博(総務課庶務係長)

係長
防災管理・管財課管財係長 面高浩二(学校教育課主査)
総務課財政係長 村上幸司(防災管理・管財課管財係長)
総務課庶務係長 山尾淳(農政課農政係長)
税務課収納対策係長 原田亨(生涯学習課ふれあい塾係長)
人権・同和対策課人権・同和対策係長 松木江利子(出納室会計係長)

係
総務課主査 村上慶孝(税務課)
まちづくり総合政策課主査 石川真由美(介護保険広域連合田川桂川支部派遣)
まちづくり総合政策課主査 日永田憲章(福祉課)
税務課主査 古殿大祐(農政課)
住民課主査 小林真代(福祉課)
福祉課主査 ビスタ由美子(保健課)
福祉課主査 野相篤(保健課)
農政課主査 立花正太郎(建設課)
住宅課主査 谷口秀徳(住民課)

福祉課高齢者福祉係長 田吹奈緒子(保健課地域包括支援センター係長)
福祉課障がい者福祉係長 梅原美由希(保健課主査)
福祉課子育て支援係長 太田恭子(同課福祉係長)
保健課隣保館係長 仲村浩美(生涯学習課社会教育係長)
農政課国土調査係長 中村敬(住宅課住宅係長)
農政課農政係長 白川督信(総務課主査)
住宅課住宅係長 白石貴裕(コスモス診療所庶務係長兼方城診療所係長)
田川広域水道企業団福智町水道事務所業務係長 竹宗知子(同所主査)
コスモ診療所庶務係長兼方城診療所係長 高健志(人権同和対策課人権同和対策係長)
学校教育課給食センター係長 田丸義雅(税務課収納対策係長)
生涯学習課社会教育係長 末永康彦(税務課主査)

住宅課主査 奥智美(住民課)
田川広域水道企業団本部派遣 主査 山村智昭(福智町水道事務所)
田川広域水道企業団福智町水道事務所派遣 主査 松熊威幸(まちづくり総合政策課)
介護保険広域連合田川・桂川支部派遣 主査 池田美幸(住民課)
総務課主任主事 木戸巧(税務課)
防災管理・管財課主任主事 福島信一郎(建設課)
税務課主任主事 永岡満里奈(生涯学習課)
税務課主任主事 名本洋平(福祉課)
住民課主任主事 植田浩央(田川広域水道企業団本部派遣)
住民課主任主事 田口友崇(総務課)
福祉課主任主事 尾崎大太(まちづくり総合政策課)
農政課主任主事 崎原沙都季(福祉課)
農政課主任主事 永末成仁(防災管理・管財課)
生涯学習課主任主事 河口百合恵(福祉課)
出納室主事 田島一美(福祉課)
防災管理・管財課主事 清水絵理(県派遣)
住民課主事 江藤悠馬(生涯学習課)
住民課主事 高津宏和(住宅課)
福祉課主事 入江敦美(保健課)
住宅課主事 吉野恭平(建設課)
学校教育課主事 浦田知枝(総務課)
県派遣主事 浦田美優(福祉課)

令和3年度入庁
新人職員紹介

税務課賦課係 ▶ 太田 翔
福智町のため、そして、住民の皆さまのために、今ある業務を作っている職員を目指して頑張りたいと思います。
Kakeru Ota
住民課保険係 ▶ 田中 萌
窓口で住民の皆さまと接するとき、親しみやすい笑顔が心がけています。これから、担当業務に関する知識を深め、皆さんに信頼される職員を目指します。
Moe Tanaka
農政課農政係 ▶ 高林 翼
自分が任された業務をしっかりと覚え、住民の皆さまや役場の職員にも頼られ、信頼していただける職員になれるよう、精一杯精進していきます。
Tsuhasa Takahashi
保健課保健係 ▶ 奥 陽香
新型コロナウイルス感染症がまん延する昨今。福智町に暮らす皆さまが身体も心も健康に過ごせるように、保健師として全力でサポートしていきたいと思っています。
Haruka Oka
生涯学習課社会体育係 ▶ 浦田 公三
幼い頃から慣れ親しんできたスポーツの経験を生かし、町の体育振興に貢献したいです。そのためにいち早く仕事に慣れ、町の戦力となるように励みます。
Kouzou Ueta
保健課保健係 ▶ 山田 貴久美
役場に入庁してまだ日が浅く、初めてのことや分からないことばかりですが、先輩方にアドバイスをもらいながら少しずつできることを増やせるように頑張ります。
Kikumi Yamada